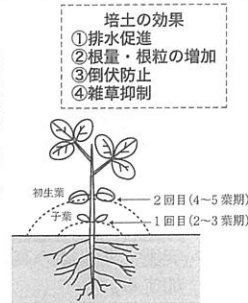


# 大豆(えんれいの)

時期	10月～11月	5月	6月
生育期	排水対策・土づくり期間	播種準備～播種期	生育初期～培土期
主な作業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○額縁排水を前年積雪前までに実施する。</li> <li>○額縁排水を前年積雪前までに実施する。</li> <li>○額縁排水を前年積雪前までに実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①土づくり</li> <li>②種子消毒</li> <li>③適正播種作業(5月末～6月中旬)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④1回目培土</li> <li>⑤2回目培土</li> </ul>
	<p>栽培指針はP98～99を参照する。</p> <p>地力増進作物(ヘアリーベッチ)の</p>	<p>大豆バサグラン、ポルトフロアブルの散布時期の目安</p>	<p>大豆バサグラン、ポルトフロアブルの散布時期の目安</p>



### 良質大豆生産のポイント

- 排水の良いほ場づくり
- 土づくり
- 適正播種作業(5月末～6月中旬)
- 雑草防除
- 的確な中耕培土
- 英数確保の為のうね間かん水
- 病害虫の適期防除
- 適正な収穫・乾燥
- 地力増進作物(ヘアリーベッチ)の作付

播種時期	目標栽培本数		播種量(10a当り)	
	10a当り	m当り	中粒	大粒
5月末～6月上旬	16,000本	13本	4.8kg	5.7kg
6月中旬	18,000本	14～15本	5.4kg	6.4kg

※播種量は中粒33g/100粒、大粒は27g/100粒とした場合、苗立率90%とした場合。

## 栽培管理のポイント

### ①土づくり (pH6.0以上を目標)

資材名	10a当り施用量	散布時期
苦土石灰	100kg以上	耕起前
堆きゅう肥	2㎡	
醗酵けいふん	100～150kg	

### ②種子消毒

対象病害虫	薬剤名	処理方法
アブラムシ類 ネキリムシ類 タネバエ フタスジヒメハムシ 茎疫病 リソクトニア根腐病	クルーザーMAXX	※種子1kg当り原液8mlを塗抹する

### ③適正播種作業

- ・耕起は碎土率、播種精度を高めるため丁寧に行う。
- ・播種作業速度は、歩くような速さで(30a/70分)(欠株による苗立ち不良を出さない)
- ・播種深度は3cm程度とし、晴れが続くようであればやや深くする。
- ・うね立て同時播種等の実施により、できる限り表面排水に努める。
- ・除草剤散布時は、除草効果を高めるため、播種直後、土の湿っている状態ですみやかに散布する。
- ・基幹排水溝と額縁排水溝を連結する。
- ・排水側の枕地に排水溝を増設し、排水を促進する。

### ④1回目培土(播種後20～25日)

- ・本葉2～3葉期に子葉がかくれるまで培土する。
- ・培土時に基幹排水溝と排水口へ連結する。

### ⑤2回目培土(播種後30～35日)

- ・本葉4～5葉期に初生葉がかくれるまで培土する。
- ・培土時に基幹排水溝と排水口へ連結する。

### ⑥7月下旬～9月上旬の英数確保の為のうね間かん水

- ・開花後、晴天が3日以上続くと思込まれる場合は、短時間のかん水を行う。
- ・ほ場全体に水が行き届いたら、すみやかに排水する。
- ・この時期の干ばつは、英数が減り、減収につながる。

### ⑦施肥基準 (kg/10a)

肥料名	施肥区分	10a当り施用量	施肥時期
基肥555	側条	単作	10
		麥跡	15
	全層	単作	15
		麥跡	25
L.Ps大豆専用	側条	単作	15

※堆肥を施用したほ場では減肥を検討する。  
※基肥555は吸湿性が高いため、開封後は早めに使用する。

# そらの栽培ごよみ

7月	8月～9月	10月
開花期	莢伸長期～子実肥大期～黄葉期	収穫期
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤2回目培土</li> <li>⑥英数確保の為のうね間かん水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦1回目病害虫防除</li> <li>⑦2回目病害虫防除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乾燥・調製</li> <li>○刈取時間</li> </ul>

### ⑦防除基準

【基本防除】

使用機械	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	10a当り原液量	10a当り散布量	収穫前日数	総使用回数
動力散布機	紫斑病 カメムシ類	Zボルドー粉剤DL スタークル粉剤DL			3kg	7日前まで	2回以内
	紫斑病 カメムシ類	トライトレボン粉剤DL			3kg	14日前まで	2回以内
動力噴霧機	紫斑病 カメムシ類	プランダム乳剤25 スミチオン乳剤	4,000倍 1,000倍	50ml	200ℓ	7日前まで	2回以内
	紫斑病 カメムシ類	アミスター20フロアブル キラップフロアブル	2,000倍	100ml	200ℓ	7日前まで	2回以内
無人航空機	紫斑病 カメムシ類	プランダム乳剤25 スミチオン乳剤	24倍 8倍	33ml 100ml	0.8ℓ	7日前まで 21日前まで	2回以内 4回以内
	紫斑病 カメムシ類	アミスター20フロアブル キラップフロアブル	16倍	50ml	0.8ℓ	7日前まで	2回以内

【随時防除】

使用機械	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	10a当り原液量	10a当り散布量	収穫前日数	総使用回数
動力散布機	ハスモンヨトウ・アブラムシ類 ウコンノメイガ・フタスジヒメハムシ カメムシ類	トレボン粉剤DL ダントツH粉剤DL			4kg	14日前まで 7日前まで	2回以内 3回以内
	ウコンノメイガ・ハスモンヨトウ ハダニ類	プレバソフフロアブル5 ニッソラン水和剤	4,000倍 2,000倍	50ml 100g	200ℓ	7日前まで 14日前まで	2回以内
無人航空機	ウコンノメイガ・ハスモンヨトウ カメムシ類	プレバソフフロアブル5 トレボンエアア	16倍 8倍	50ml 100ml	0.8ℓ	7日前まで 14日前まで	2回以内

【雑草防除】

区分	除草剤名	対象雑草	10a当り散布量	使用時期	総使用回数
播種後(土壌処理)	トレファノサイド粒剤25	畑地1年生雑草	6kg	播種後出芽前	1回
	トレファノサイド乳剤		300ml/水100ℓ		
	プロールプラス乳剤		500ml/水100ℓ		
生育期(全面散布)	大豆バサグラン液剤	畑地1年生雑草(イネ科を除く)	100～150ml/水100ℓ	大豆第2葉期～開花前 収穫45日前まで	1回
	ポルトフロアブル	イネ科雑草	200～300ml/水100ℓ	イネ科雑草3～10葉期 収穫30日前まで	2回
生育期(うね間散布)	ザクサ液剤	畑地1年生雑草	300～500ml/水100～150ℓ	雑草生育期(うね間処理) 収穫28日前まで	3回以内
	バスタ液剤		300～500ml/水100～150ℓ	雑草生育期(うね間処理) 収穫28日前まで	3回以内
	ダイロンゾル		100～200ml/水100ℓ	生育期(うね間、株間処理) 5葉期以降、雑草生育期	1回

※ダイロンゾルは、ザクサ液剤またはバスタ液剤を混用することで抑草期間が長くなる。(混用の際はダイロンゾルを先に水に溶かす)